

「元気発進！子どもプラン」事業評価票（平成26年度実績評価）

事業名	親子通園クラスの設置						掲載ページ		
							47		
コスト	事業費	平成26年度執行額		平成27年度予算額		政策分野	仕事と子育ての両立支援	担当局	子ども家庭局
		1,685	千円	3,642	千円	施策名	保育サービス	担当課	保育課

【Plan】計画 →				【Do】実施 → 【Check】評価			
目的	何を（誰を）どのような状態にしたのか	直営保育所へ「親子通園クラス」を設け、主に未就園児を対象に発達の気になる子どもを保護者とともに受け入れ、保育所での遊びや体験、相談を通じて継続した支援を行います。また、直営保育所と保健、医療、福祉の関係機関が連携しながら、児童の保育所、幼稚園などへの移行を支援します。					
活動計画	八幡西区黒崎保育所、小倉北区東篠崎保育所において、親子通園クラスを運営し、発達に不安のある児童や育児に不安のある保護者を親子で受け入れ、遊びや相談を通じて、保育所や幼稚園、療育機関等への移行支援を行います。						
活動指標	指標（数値化できない場合は、活動内容を文章で記載） （上段：指標名 下段：指標の考え方）	前年度実績	目標	実績（達成率）	→	【活動の状況】	
	親子通園クラスの利用者数（延べ数）	217 組	200 組	300 組	大変順調	活動指標の実績を参考に、活動の状況をチェック	
	計画当初は目標数を実施箇所数（7箇所）としていたが、保育の質の向上、多様なニーズに対応した特別保育の充実などの取り組みによる成果を示すには、親子通園クラスの箇所数よりも利用者数が適当と考えられるため、指標として掲げました。 （最終目標と最終年度）<7箇所、平成26年度>200組（平成26年度）			150.0 %			
					順調	順調	
（最終目標と最終年度）				やや遅れ 遅れ			

【Check】評価（分析）			
分析及び課題の整理	【活動の状況】を踏まえた分析	活動は予定通りだったのか、活動は有効だったのかなど、分析し課題を整理する。また、影響を及ぼした外的要因の分析も行う。	小倉北区東篠崎保育所と八幡西区黒崎保育所の親子通園クラスで、遊びの提供や保護者との懇談を行い、発達の気になる子どもや育児に不安のある保護者に対し、継続した支援を行いました。黒崎保育所は延べ180組、東篠崎保育所は延べ120組の親子が利用しました。通園利用世帯に対して実施したアンケートで、利用者の満足度は100%でした。また、保育所・幼稚園・療育機関等への移行先が決定した世帯も84%を超え、移行支援としての成果も出ていることから順調としました。全国的に先駆けた事業です。
	「経済性」「効率性」の分析	「同じ成果をより低いコストで」「同じコストでより高い成果を」得られないか。また、民間活力導入による「経済性・効率性」の向上はできないか。	直営保育所の経費資源を活用することでコストを抑えるとともに、利用料として1世帯あたり月に4,000円を徴収しています。

【Action】 目的実現のために平成27年度以降に実施すること
引き続き、実施している2ヶ所について検証していきながら、関係機関との連携、PRを行い、発達の気になる子どもや育児に不安のある保護者に対して、継続した支援を行います。

「元気発進！子どもプラン」事業評価票（平成26年度実績評価）

事業名	地域子育て支援センター事業						掲載ページ
							47
コスト	事業費	平成26年度執行額	平成27年度予算額	政策分野	仕事と子育ての両立支援	担当局	子ども家庭局
		49,347 千円	37,272 千円	施策名	保育サービス	担当課	保育課

【Plan】計画 →				【Do】実施 → 【Check】評価		
目的	何を（誰を）どのような状態にしたのか	保育所等を拠点とした地域子育て支援センターを設置し、育児相談や情報提供、親同士の交流などの場を設け、地域の子育て家庭の支援を行います。		活動実績	活動結果は下記のとおりです。	
活動計画	育児相談や情報提供、親同士の交流など、保育所等の特性を活かした子育て支援の場を設け、地域の子育て家庭の支援を行います。					
活動指標	指標（数値化できない場合は、活動内容を文章で記載） （上段：指標名 下段：指標の考え方）	前年度実績	目標	実績（達成率）	→	【活動の状況】
	地域子育て支援センター事業を実施している保育所の施設数	8 施設	8 施設	6 施設	大変順調	活動指標の実績を参考に、活動の状況をチェック
	育児相談や情報提供、親同士の交流などの場や、地域の子育て家庭の支援等に対する需要があると考えられるため、活動指標としました。 （最終目標と最終年度） 8施設（現状維持）、平成26年度			75.0 %		
					順調	順調
（最終目標と最終年度）				やや遅れ 遅れ		

【Check】評価（分析）			
分析及び課題の整理	【活動の状況】を踏まえた分析	活動は予定通りだったのか、活動は有効だったのかなど、分析し課題を整理する。また、影響を及ぼした外的要因の分析も行う。	計画当初は、目標数を8施設としていましたが、相談内容や対象者等施設の機能の重複が見られることから、親子ふれあいルームとの機能の統合・整理を行った結果、施設数が減少しました。しかし、地域の子育て中核施設として、育児講座や育児相談等の市民のニーズに対応した事業を行っており、子育て家庭の支援に効果があったと考えられることから、順調としました。
	「経済性」「効率性」の分析	「同じ成果をより低いコストで」「同じコストでより高い成果を」得られないか。また、民間活力導入による「経済性・効率性」の向上はできないか。	限られた補助金額の中で、配置保育士2名分の給与を支出すると同時に、各保育所でパンフレットや手引き等を作成するほか、離乳食講座、手作り教室など各種交流行事を開催しており、効率性は高いと言えます。

【Action】 目的実現のために平成27年度以降に実施すること
<p>子育て世代のニーズに対応するため、育児相談や情報提供、親同士の交流の場を設け、地域の子育て家庭の支援を行います。</p> <p>なお、利用対象者、相談内容、施設の機能の重複が見られる、親子ふれあいルームとの機能の統合・整理を図るため、保育所併設型地域子育て支援センターの順次廃止を行います。</p> <p>（平成26年4月：8施設→6施設、平成27年4月：6施設→4施設）</p>

「元気発進！子どもプラン」事業評価票（平成26年度実績評価）

事業名	子育て支援員の養成・配置（保育所）						掲載ページ		
							47		
コスト	事業費	平成26年度執行額		平成27年度予算額		政策分野	仕事と子育ての両立	担当局	子ども家庭局
		688	千円	603	千円	施策名	保育サービス	担当課	保育課

【Plan】計画 →				【Do】実施 → 【Check】評価			
目的	何を（誰を）どのような状態にしたのか	北九州市社会福祉研修所の研修の充実を図り、保育所の保育士を子育てに関する相談や育児サークルの支援等に対応できる「子育て支援員」として養成します。「子育て支援員」は、各区役所や市民センター等と連携しながら、地域に根差す保育所の子育て家庭支援の中心的な役割を担います。					
活動計画	年間40名を受講対象とし、4年を1クールと設定し、全保育所の保育士が参加するように計画しています。						
活動指標	指標（数値化できない場合は、活動内容を文章で記載） （上段：指標名 下段：指標の考え方）	前年度実績	目標	実績（達成率）	→	【活動の状況】	
	子育て支援員養成人数	40 名	41 名	41 名	大変順調	活動指標の実績を参考に、活動の状況をチェック	
	専門性を活かし、きめ細やかな子育て相談等に対応できるよう、子育て支援員としての養成した人数を活動指標としてあげました。 （最終目標と最終年度）			100.0 %			
	子育て支援員の配置保育所数	160 施設	162 施設	162 施設	やや遅れ	順調	
保育所の保育士を子育てに関する相談や育児サークルの支援等に対応できる「子育て支援員」として養成し、保育所に配置し、育児に悩む保護者を支援できるよう、活動指標としてあげました。 （最終目標と最終年度）すべての保育所（現状維持）、（平成26年度）	100.0 %						

【Check】評価（分析）		
分析及び課題の整理	【活動の状況】を踏まえた分析	活動は予定通りだったのか、活動は有効だったのかなど、分析し課題を整理する。また、影響を及ぼした外的要因の分析も行う。 子育て支援指導者の育成を計画的に行い、「子育て支援員養成講座」を6日間実施しました。子育て支援の推進及び保育の質の向上を図ることが出来たことから、順調と判断しました。
	「経済性」「効率性」の分析	「同じ成果をより低いコストで」「同じコストでより高い成果を」得られないか。また、民間活力導入による「経済性・効率性」の向上はできないか。 北九州市福祉事業団に委託している社会福祉研修所が主催した研修を受講しているため、これ以上コストを下げることは出来ません。

【Action】 目的実現のために平成27年度以降に実施すること
今後も、スーパーバイザーの役割を担う子育て支援員の養成のため、研修を継続実施します。

「元気発進！子どもプラン」事業評価票（平成26年度実績評価）

事業名	身近な施設における相談の実施						掲載ページ
							47
コスト	事業費	平成25年度執行額	平成26年度予算額	政策分野	仕事と子育ての両立支援	担当局	子ども家庭局
		- 千円	- 千円	施策名	保育サービス	担当課	保育課

【Plan】計画 →				【Do】実施 → 【Check】評価		
目的	何を(誰を)どのような状態にしたのか	保育所や幼稚園、学校、市民センター、小児科医などの身近な施設において、通常の業務や活動の中でそれぞれの特性を生かした子育て相談や情報の提供を行っています。このうち、保育所においては、すべての施設で地域の子育て家庭を対象とした育児相談をはじめ、情報の提供を行います。		活動実績	子育て情報や親子のふれあい遊びを提供しました。 また、各保育所で子育て広場を開催したり、全ての施設で育児相談を実施するとともに、電話による相談も受付ました。	
活動計画	保育所において、子育て家庭を対象として育児に関する相談や情報提供を行います。					
活動指標	指標(数値化できない場合は、活動内容を文章で記載) (上段:指標名 下段:指標の考え方)	前年度実績	目標	実績(達成率)	→	【活動の状況】
	育児相談や子育て情報の提供施設数					
	保育所での、育児相談や子育て情報の提供施設数が適当と考えられるため活動指標としました。 (最終目標と最終年度)	160 施設 (100)%	163 施設	163 施設 100.0 %	大変順調	活動指標の実績を参考に、活動の状況をチェック
	(最終目標と最終年度)				順調 やや遅れ 遅れ	順調

【Check】評価(分析)			
分析及び課題の整理	【活動の状況】を踏まえた分析	活動は予定通りだったのか、活動は有効だったのかなど、分析し課題を整理する。また、影響を及ぼした外的要因の分析も行う。	保育所における地域事業の一環として位置づけをしています。保育所が持つ専門的知識やノウハウを生かして相談を受けたり、親子のふれあい遊びを提供して愛着関係がスムーズに築けるように支援をしました。各保育所で開催している子育て広場は、年々参加者が増加し、電話相談も多くなってきています。子育てに不安を感じている在宅の母親にとって地域にある身近な相談場所として大きな役割を果たしたことから、順調としました。
	「経済性」「効率性」の分析	「同じ成果をより低いコストで」「同じコストでより高い成果を」得られないか。また、民間活力導入による「経済性・効率性」の向上はできないか。	保育所の地域事業の一環として実施している相談業務であり、新たなコストはかかりません。

【Action】 目的実現のために平成27年度以降に実施すること
<p>保育者が持つ専門的知識やノウハウを活かして、関係機関と連携をとりながら子育て広場の開催や子育て相談、情報の提供などを引き続き行います。地域の子育て家庭のニーズに応じて支援の充実を図ります。</p> <p>なお、本事業は、平成27年度以降、「保育所における地域活動事業」に統合し、進めていきます。</p>

「元気発進！子どもプラン」事業評価票（平成26年度実績評価）

事業名	子育て支援総合コーディネーターの配置						掲載ページ		
							47		
コスト	事業費	平成26年度執行額		平成27年度予算額		政策分野	仕事と子育ての両立支援	担当局	子ども家庭局
		14,272	千円	14,318	千円	施策名	保育サービス	担当課	保育課

【Plan】計画 →				【Do】実施 → 【Check】評価			
目的	何を（誰を）どのような状態にしたのか	「子育て支援サロン“ぴあちえーれ”」に子育て支援総合コーディネーターを3名配置し、面接、電話、インターネット（メール）による子育てに関する相談の対応を行うとともに利用者に必要な関係機関との連絡、調整等の支援を行います。		活動実績	活動結果は下記のとおりです。		
活動計画	市において、北九州市保育所連盟と委託契約を締結し、保育士等により構成された子育て支援コーディネーター3名を配置して子育てに関する相談への対応や各関係機関との連携、コーディネート業務等を実施します。						
活動指標	指標（数値化できない場合は、活動内容を文章で記載） （上段：指標名 下段：指標の考え方）		前年度実績	目標	実績（達成率）	→	【活動の状況】
	コーディネーターの配置人数		3 名	3 名	3 名 100.0 %	大変順調	活動指標の実績を参考に、活動の状況をチェック
	子育て支援サロン“ぴあちえーれ”において、子育ての悩み等相談に適切に応じるには、コーディネーターの確保が必要なことから、活動指標にしました。 （最終目標と最終年度）						
	育児講座の実施回数		10 回	10 回	10 回 100.0 %	やや遅れ	順調
大学教授や小児科医、保育経験者等を講師に招き、子どもの発達や食育、遊び等をテーマとした育児講座を受講することで、子育ての悩みや不安の解消の一助につながると考え、活動指標としました。 （最終目標と最終年度）							

【Check】評価（分析）			
分析及び課題の整理	【活動の状況】を踏まえた分析	活動は予定通りだったのか、活動は有効だったのかなど、分析し課題を整理する。また、影響を及ぼした外的要因の分析も行う。	「子育てふれあい交流プラザ」内の子育て支援サロン“ぴあちえーれ”において、子育て支援総合コーディネーターを3名配置し、子育てに関する相談に応じ、利用者に必要な関係機関との連携、調整等を行います。また、大学教授や小児科医、保育経験者等を講師に招き、子どもの発達や食育、遊び等をテーマとした育児講座の開催や、絵本の貸し出しを行い、子育て支援の充実を図りました。子育てに関する相談は、電話相談1105件、面接相談797件、メール相談90件あり、利用者に必要な関係機関との連携、調整等も行い、常に情報収集にも努めています。以上のことから、活動は順調としました。
	「経済性」「効率性」の分析	「同じ成果をより低いコストで」「同じコストでより高い成果を」得られないか。また、民間活力導入による「経済性・効率性」の向上はできないか。	限られた予算で事業を展開しており、施設内での育児講座や貸し出し図書、玩具の購入、リーフレットの作成などを通して事業の周知を図り、効率的な運営をしています。そのため、これ以上のコスト削減は困難だと考えます。

【Action】 目的実現のために平成27年度以降に実施すること
今後も子育てに関するニーズに応えるため、継続して事業を実施します。

「元気発進！子どもプラン」事業評価票（平成26年度実績評価）

事業名	一時保育事業						掲載ページ		
							48		
コスト	事業費	平成26年度執行額		平成27年度予算額		政策分野	仕事と子育ての両立支援	担当局	子ども家庭局
		45,049	千円	51,336	千円	施策名	保育サービス	担当課	保育課

【Plan】計画 →				【Do】実施 → 【Check】評価		
目的	何を(誰を)どのような状態にしたのか	保護者のパート就労や冠婚葬祭、及び育児リフレッシュ等の理由により、一時的に家庭での保育が困難となる児童を保育所において保育します。今後は、実施施設数を増やします。		活動実績	活動結果は下記のとおりです。	
活動計画	引き続き一時保育実施施設を増やし、子育て家庭等の支援を行います。					
活動指標	指標(数値化できない場合は、活動内容を文章で記載) (上段:指標名 下段:指標の考え方)	前年度実績	目標	実績(達成率)	→	【活動の状況】
	一時保育事業を実施する保育所	67 施設	64 施設	71 施設	大変順調 順調 やや遅れ 遅れ	活動指標の実績を参考に、活動の状況をチェック
	実施保育所数を増やすことで、保護者の就労等の理由により、一時的に家庭での保育が困難となる児童を保育することができると考え、活動指標としました。 (最終目標と最終年度) 64箇所、(平成26年度)			110.9 %		
(最終目標と最終年度)						

【Check】評価(分析)			
分析及び課題の整理	【活動の状況】を踏まえた分析	活動は予定通りだったのか、活動は有効だったのかなど、分析し課題を整理する。また、影響を及ぼした外的要因の分析も行う。	平成26年度は4施設で新規開設を行い、全71施設において年間延べ23,242人の児童が利用したことから順調としました。一時的な就労等多様化する就労形態への対応や、専業主婦等の育児リフレッシュへの対応等について有効です。
	「経済性」「効率性」の分析	「同じ成果をより低いコストで」「同じコストでより高い成果を」得られないか。また、民間活力導入による「経済性・効率性」の向上はできないか。	補助金は利用児童数に応じた額となっており、限られた補助の中で人員を配置し実施するなど、合理的に事業を行っています。

【Action】 目的実現のために平成27年度以降に実施すること
一時保育を幅広く展開していくことで、待機児童の解消や子育て支援家庭への支援にも繋がることから、今後も一時保育の実施施設の増加を図ります。

「元気発進！子どもプラン」事業評価票（平成26年度実績評価）

事業名	保育所における地域活動事業						掲載ページ
							48
コスト	事業費	平成26年度執行額	平成27年度予算額	政策分野	仕事と子育ての両立支援	担当局	子ども家庭局
		31,690 千円	33,276 千円	施策名	保育サービス	担当課	保育課

【Plan】計画 → 【Do】実施 → 【Check】評価

目的	何を(誰を)どのような状態にしたのか 保育所における世代間交流事業や、異年齢児交流事業などの幅広い活動を通して、子どもたちの社会性を培います。また、保育所が持つ専門的知識やノウハウを生かし、子育て相談や育児講座の開催および子育て情報の提供を行うなど、地域の子育ての核として、子育て家庭への支援を行います。	活動実績 活動結果は下記のとおりです。				
活動計画	地域の高齢者との交流や小学校低学年児童の受け入れ、育児講座など、その地域の特性や各施設の状況に応じた地域活動事業を行います。					
活動指標	指標(数値化できない場合は、活動内容を文章で記載) (上段:指標名 下段:指標の考え方)	前年度実績	目標	実績(達成率)	→	【活動の状況】
	地域活動事業実施の保育所数	151 所	163 所	152 所	大変順調	活動指標の実績を参考に、活動の状況をチェック
	すべての保育所において、世代間交流事業、異年齢児交流事業、育児講座・育児と仕事両立支援事業などの地域活動事業を実施します。 地域活動事業を実施した保育所箇所数が適当と考えられるため、活動指標に掲げました。 (最終目標と最終年度) 全ての保育所(現状維持) (平成26年度)					
					順調	順調
(最終目標と最終年度)				やや遅れ 遅れ		

【Check】評価(分析)

分析及び課題の整理	【活動の状況】を踏まえた分析	活動は予定通りだったのか、活動は有効だったのかなど、分析し課題を整理する。また、影響を及ぼした外的要因の分析も行う。	実施保育所数が目標数に達していないものの、各保育所において、世代間交流事業(地域の年長者との昔遊びや縁日ごっこ、もちつきなど)、異年齢児交流事業(校区小学校との連携を推進)を実施しました。 また、保護者対象の子育て相談や育児講座をはじめ、在宅親子への支援として、各保育所での子育て広場の開催や、電話相談対応など、その地域の特性や各施設の状況に応じた地域活動を実施しました。未就園児親子が、身近な保育所にて、子育てのアドバイスを受けたたり、同年齢の保育園児と交流を持つことで、育児の悩みや不安の緩和に貢献しました。以上の内容より、活動の状況については順調としました。
	【経済性】 【効率性】 の分析	「同じ成果をより低いコストで」「同じコストでより高い成果を」得られないか。また、民間活力導入による「経済性・効率性」の向上はできないか。	現在の保育所の機能を活用した発展的な事業であるため、「経済性」「効率性」に優れた取り組みを行うことができたと考えています。

【Action】 目的実現のために平成27年度以降に実施すること

子どもたちの社会性を培うため、保育所において世代間交流事業や異年齢児交流事業など、幅広い活動を実施します。
また、保育所が持つ専門的知識やノウハウを生かして、子育て相談や育児講座、情報の提供を行います。
未実施保育所に対しては、事業趣旨を伝えるほか保育所の取り組み事例を紹介することで、積極的な事業参加を促します。
なお、平成26年度より順次整理・廃止されている地域子育て支援センター(保育所併設型)の一部機能(育児相談、交流の場の提供など)について、各保育所の地域活動事業による補完を図ります。

「元気発進！子どもプラン」事業評価票（平成26年度実績評価）

事業名	保育所・幼稚園情報の積極的な提供						掲載ページ
							48
コスト	事業費	平成26年度執行額	平成27年度予算額	政策分野	仕事と子育ての両立支援	担当局	子ども家庭局
		9,798 千円 「子育てに関する情報提供・PR事業」の総額。本事業はその一部。	4,017 千円 「子育てに関する情報提供・PR事業」の総額。本事業はその一部。	施策名	保育サービス	担当課	総務企画課 保育課

【Plan】計画 →				【Do】実施 → 【Check】評価		
目的	何を（誰を）どのような状態にしたのか	市ホームページ上で各保育所の入所状況を表示し、保育所入所希望者等への情報提供の充実を図ります。		活動実績	活動結果は下記のとおりです。	
活動計画	市ホームページ等の充実を図ります。					
活動指標	指標（数値化できない場合は、活動内容を文章で記載） （上段：指標名 下段：指標の考え方）	前年度実績	目標	実績（達成率）	→	【活動の状況】
	ホームページの更新回数	12 （100%）回	12 回	12 回	大変順調 順調 やや遅れ 遅れ	活動指標の実績を参考に、活動の状況をチェック
	平成21年度より、市内各保育所の入所状況を市ホームページで公開しており、毎月（年12回）の入所状況の公開を継続することが、入所希望者等への情報提供の充実にも寄与するため、活動指標に掲げました。 （最終目標と最終年度）市内の全ての認可保育所（園）、幼稚園への情報提供（平成26年度）			100.0 %		
（最終目標と最終年度）						

【Check】評価（分析）		
分析及び課題の整理	【活動の状況】を踏まえた分析	<p>活動は予定通りだったのか、活動は有効だったのかなど、分析し課題を整理する。また、影響を及ぼした外的要因の分析も行う。</p> <p>ホームページ「子育てマップ北九州」による情報提供や保育所・幼稚園に通う全児童に「こそだて情報」を配布することにより、保護者に子どもの成長や年齢に応じた情報をタイムリーに提供することができています。 また、毎月（年12回）、市内各保育所の入所状況を市ホームページで公開し、入所希望者等への情報提供を積極的に行ったことから、順調としました。 「子育てマップ北九州」については、スマートフォン向けサイトを開設し、よりアクセスしやすいようにしました。また、より「わかりやすく」「探しやすい」妊娠、出産、子育てに関する各種行政サービスをWeb上で情報提供する「北九州市子育てナビ」を開設しました。</p>
	「経済性」「効率性」の分析	<p>ホームページを活用した情報提供は、低いコストでより高い効果を期待できるものであり、これ以上のコスト削減は困難と考えます。</p>

【Action】 目的実現のために平成27年度以降に実施すること
<p>区役所窓口における保育所入所相談時に、ホームページによる情報提供の内容を周知するとともに、利用者が必要としている情報を把握し、情報提供の継続実施に努めます。</p>

「元気発進！子どもプラン」事業評価票（平成26年度実績評価）

事業名	施設・園庭の地域への開放						掲載ページ
							48
コスト	事業費	平成26年度執行額	平成27年度予算額	政策分野	仕事と子育ての両立支援	担当局	子ども家庭局
		0 千円	0 千円	施策名	保育サービス	担当課	保育課

【Plan】計画 →				【Do】実施 → 【Check】評価		
目的	何を(誰を)どのような状態にしたのか	地域住民の理解を深め、開かれた保育所づくりを推進するため、未就園児と保護者に施設や園庭の開放を促進するとともに、行事へ地域住民の参加を促すなど、安全管理の下で開放的な雰囲気づくりに取り組みます。			活動実績	活動結果は下記のとおりです。
活動計画	未就園児とその保護者に保育所の施設や園庭を開放します。					
活動指標	指標(数値化できない場合は、活動内容を文章で記載) (上段:指標名 下段:指標の考え方)	前年度実績	目標	実績(達成率)	→	【活動の状況】
	施設園庭の地域への開放実施施設数	160 施設 (100)%	163 施設	163 施設 100.0 %	大変順調 順調 やや遅れ 遅れ	活動指標の実績を参考に、活動の状況をチェック
	地域活動や施設の開放を通して、未就園児と保護者の来所が増え個別の育児相談の実施など、開かれた保育所作りを推進します。 (最終目標と最終年度)全ての保育所(現状維持)(平成26年度)					
	(最終目標と最終年度)					順調

【Check】評価(分析)		
分析及び課題の整理	【活動の状況】を踏まえた分析	活動は予定通りだったのか、活動は有効だったのかなど、分析し課題を整理する。また、影響を及ぼした外的要因の分析も行う。 地域活動等を通じた地域の年長者や在宅親子との交流や不審者対策を十分に考慮した、開かれた保育所づくりを推進したことから順調としました。地域住民や在宅の未就園児親子を行事等や育児講座などに招待することで、保育所への理解が深まります。また専門性を活かした子育て支援は子育てに悩む保護者の方に喜ばれています。
	「経済性」「効率性」の分析	「同じ成果をより低いコストで」「同じコストでより高い成果を」得られないか。また、民間活力導入による「経済性・効率性」の向上はできないか。 保育所の機能を活かして、地域の保育所への理解を得ることが出来、開かれた保育所づくりをするので、新たなコストはかかりません。

【Action】 目的実現のために平成27年度以降に実施すること
今後とも保育所の機能を活かして、地域の子育て支援を充実させ安全管理の下、開かれた保育所づくりを進めます。なお、本事業は「保育所における地域活動事業」に統合して実施します。

「元気発進！子どもプラン」事業評価票（平成26年度実績評価）

事業名	親子ですすめる食育教室						掲載ページ		
							48		
コスト	事業費	平成26年度執行額		平成27年度予算額		政策分野	仕事と子育ての両立支援	担当局	子ども家庭局
		944	千円	966	千円	施策名	保育サービス	担当課	子育て支援課

【Plan】計画 → 【Do】実施 → 【Check】評価

目的	何を（誰を）どのような状態にしたのか 乳幼児期からの正しい食事の仕方や望ましい食習慣の定着のために、幼稚園や保育所等において、入所児童の保護者を対象に乳幼児期の食育について、栄養士の講話や調理実演などを行います。	活動実績 活動結果は下記のとおりです				
活動計画	40回程度講座を実施し、より多くの対象者に食育を推進していきます。					
活動指標	指標（数値化できない場合は、活動内容を文章で記載） （上段：指標名 下段：指標の考え方）	前年度実績	目標	実績（達成率）	→	【活動の状況】
	「親子ですすめる食育教室」の開催回数	40 回	40 回	40 回	大変順調 順調 やや遅れ 遅れ	活動指標の実績を参考に、活動の状況をチェック
	幼稚園、保育所等において教室を開催することにより、より多くの対象者に食育の推進ができるため、活動指標としました。 （最終目標と最終年度） 40回（現状維持）（平成26年度）					
	（最終目標と最終年度）					順調

【Check】評価（分析）

分析及び課題の整理	【活動の状況】を踏まえた分析 活動は予定通りだったのか、活動は有効だったのかなど、分析し課題を整理する。また、影響を及ぼした外的要因の分析も行う。	年長児のほとんどが幼稚園、または保育所に通っており、保護者にも参加しやすい場所での開催は、多くの参加者を得られ、食育の推進するに有効であり、目標どおり開催できたことから順調としました。
	「経済性」「効率性」の分析 「同じ成果をより低いコストで」「同じコストでより高い成果を」得られないか。また、民間活力導入による「経済性・効率性」の向上はできないか。	従事者にボランティアを加えており、コストの面では抑えられています。

【Action】 目的実現のために平成27年度以降に実施すること

今後とも、望ましい食習慣の定着のために、幼稚園、保育所等において教室を実施することで、食育を推進します。

「元気発進！子どもプラン」事業評価票（平成26年度実績評価）

事業名	保育所を通じた地域への食育推進事業						掲載ページ
							49
コスト	事業費	平成26年度執行額	平成27年度予算額	政策分野	仕事と子育ての両立	担当局	子ども家庭局
		0 千円	0 千円	施策名	保育サービス	担当課	保育課

【Plan】計画 →				【Do】実施 → 【Check】評価		
目的	何を(誰を)どのような状態にしたのか	保育所において、食事に関する不安を解消するために、入所児童の保護者に加え、地域の子育て家庭を対象として食育に関する相談や講演会等を充実します。		活動実績	活動結果は下記のとおりです。	
活動計画	各保育所に実施保育所の取り組みの事例発表や各保育所における実施の有無のアンケート結果を周知することにより、今まで実施していなかった施設に対して新たな取り組みを促します。					
活動指標	指標(数値化できない場合は、活動内容を文章で記載) (上段:指標名 下段:指標の考え方)	前年度実績	目標	実績(達成率)	→	【活動の状況】
	地域の子育て家庭に対し食に関する支援を実施している保育所の割合	66 %	70 %	66 %	大変順調 順調 やや遅れ 遅れ	活動指標の実績を参考に、活動の状況をチェック
	支援を実施している保育所の割合の増加が、支援の充実と比例していると考えられるため、活動指標として掲げました。 (最終目標と最終年度) 70%(平成26年度)			94.3 %		
	(最終目標と最終年度)					順調

【Check】評価(分析)			
分析及び課題の整理	【活動の状況】を踏まえた分析	活動は予定通りだったのか、活動は有効だったのかなど、分析し課題を整理する。また、影響を及ぼした外的要因の分析も行う。	実施保育所の取り組みを未実施保育所に紹介することにより、一進一退ではあるが実施保育所が増加しており、順調と考えています。 講演会や食に関する情報提供は、入所児童の保護者とともに、地域の子育て家庭を対象とするので、より効果が高く、地域の保護者は身近な保育所で情報が得られることから、地域の食育推進として有効です。
	「経済性」「効率性」の分析	「同じ成果をより低いコストで」「同じコストでより高い成果を」得られないか。また、民間活力導入による「経済性・効率性」の向上はできないか。	保育所の行事として予算範囲内で行い、効果的に実施しています。

【Action】 目的実現のために平成27年度以降に実施すること
各保育所が、地域の子育て家庭へ給食のレシピ・食育だよりの配布や食に関する情報提供、食生活相談会、講演会等の支援を積極的に取り組めるように支援します。

「元気発進！子どもプラン」事業評価票（平成26年度実績評価）

事業名	保育所入所児童への食育推進事業						掲載ページ
							49
コスト	事業費	平成26年度執行額	平成27年度予算額	政策分野	仕事と子育ての両立	担当局	子ども家庭局
		0 千円	0 千円	施策名	保育サービス	担当課	保育課

【Plan】計画 →				【Do】実施 → 【Check】評価		
目的	何を(誰を)どのような状態にしたのか	保育所入所児童の食に関する興味や関心を高めるため、子どもたちが食材の栽培活動や調理などの体験を行います。また、給食を生きた教材として活用した食育指導の充実を図ります。		活動実績	活動結果は下記のとおりです。	
活動計画	実施保育所の取り組みの事例発表や各保育所における実施の有無のアンケート結果を周知することにより、100%の施設で実施しており、さらに内容が充実するように支援します。					
活動指標	指標(数値化できない場合は、活動内容を文章で記載) (上段:指標名 下段:指標の考え方)	前年度実績	目標	実績(達成率)	→	【活動の状況】
	入所児童に対する食育を実施している保育所の割合	100 %	100 %	100 %	大変順調	活動指標の実績を参考に、活動の状況をチェック
	食育指導を実施している保育所の割合の増加が、指導の充実と比例していると考えられるため、活動指標として掲げました。 (最終目標と最終年度) 100%(現状維持) (平成26年度)			100.0 %		
					順調	順調
(最終目標と最終年度)			#DIV/0! %	やや遅れ 遅れ		

【Check】評価(分析)			
分析及び課題の整理	【活動の状況】を踏まえた分析	活動は予定通りだったのか、活動は有効だったのかなど、分析し課題を整理する。また、影響を及ぼした外的要因の分析も行う。	実施保育所の取り組みを周知することにより、全保育所で実施したことから、順調としました。入所児童への食育指導の取り組みにより、子どもが食物に関心を持ち、楽しく食事することで健康な心と体を育むことから有効です。
	「経済性」「効率性」の分析	「同じ成果をより低いコストで」「同じコストでより高い成果を」得られないか。また、民間活力導入による「経済性・効率性」の向上はできないか。	保育所の保育の一環として取り組むので、予算範囲内で工夫し、より効果的に実施しています。

【Action】 目的実現のために平成27年度以降に実施すること
各保育所において、子どもが生活と遊びの中で、食にかかわる体験を積み重ねることができるように、食材の栽培体験、調理体験等に積極的に取り組むように支援します。 また、毎日の給食を通して、食事のマナー、行事食、栄養バランスなどについて教えていくように支援します。

「元気発進！子どもプラン」事業評価票（平成26年度実績評価）

事業名	保育所給食を通じた家庭への食育の普及啓発						掲載ページ
							49
コスト	事業費	平成26年度執行額	平成27年度予算額	政策分野	仕事と子育ての両立	担当局	子ども家庭局
		0 千円	0 千円	施策名	保育サービス	担当課	保育課

【Plan】計画 → 【Do】実施 → 【Check】評価

目的	何を(誰を)どのような状態にしたのか 保育所入所児童の保護者に、食育について関心を持ってもらうため、給食の保護者試食会や、献立表・食育だよりの配布などを通して、家庭への食育の啓発を図ります。	活動実績	活動結果は下記のとおりです。			
活動計画	実施保育所の事例発表や各保育所における実施の有無のアンケート結果を周知することにより、100%の施設で継続実施し、さらに内容が充実するように支援します。					
活動指標	指標(数値化できない場合は、活動内容を文章で記載) (上段:指標名 下段:指標の考え方)	前年度実績	目標	実績(達成率)	→	【活動の状況】
	入所児童の保護者に対し、食育の啓発を実施している保育所の割合	100 %	100 %	100 %	大変順調	活動指標の実績を参考に、活動の状況をチェック
	保護者への啓発を実施している保育所の割合の増加が、家庭への食育の啓発推進と比例していると考えられるため、活動指標として掲げました。 (最終目標と最終年度) 100% 平成26年度			100.0 %		
					順調	順調
(最終目標と最終年度)			#DIV/0! %	やや遅れ 遅れ		

【Check】評価(分析)

分析及び課題の整理	【活動の状況】を踏まえた分析	活動は予定通りだったのか、活動は有効だったのかなど、分析し課題を整理する。また、影響を及ぼした外的要因の分析も行う。	実施保育所の事例等を周知することにより、100%の施設で継続実施をしていることから順調としました。 また、入所児童の保護者への食育の啓発により、子育て支援のみならず、家庭の養育力の向上、保育所との連携が一層強化されています。
	「経済性」「効率性」の分析	「同じ成果をより低いコストで」「同じコストでより高い成果を」得られないか。また、民間活力導入による「経済性・効率性」の向上はできないか。	各保育所が予算範囲内で工夫し、より効果的に実施しています。

【Action】 目的実現のために平成27年度以降に実施すること

給食試食会の開催や献立表・食育だより等の配布は、家庭での食育の実践が広がり、食を通じた子どもへの理解にもつながります。今後とも各保育所(園)の食育だより等の内容がさらに充実するように、調理員研修において、食育だより等のヒントになる講話や、情報交換を行います。
なお、本事業は、「保育所を通じた家庭・地域への食育推進事業」と統合し、一体的に進めます。

「元気発進！子どもプラン」事業評価票（平成26年度実績評価）

事業名	保育所給食におけるアレルギー対応						掲載ページ		
							49		
コスト	事業費	平成26年度執行額		平成27年度予算額		政策分野	仕事と子育ての両立	担当局	子ども家庭局
		12,803	千円	19,417	千円	施策名	保育サービス	担当課	保育課

【Plan】計画 → 【Do】実施 → 【Check】評価

目的	何を(誰を)どのような状態にしたいのか	食物アレルギーを有する児童に対して、アレルギー対応給食を提供します。				活動実績	活動結果は下記のとおりです。		
活動計画	食物アレルギーを有する児童に対して、アレルギー原因食品の除去食や、代替食の対応を適切に実施するように支援します。								
活動指標	指標(数値化できない場合は、活動内容を文章で記載) (上段:指標名 下段:指標の考え方)		前年度実績	目標	実績(達成率)	→	【活動の状況】		
	アレルギー対応給食提供数/食物アレルギーを有する児童数		100 %	100 %	100 %	→	活動指標の実績を参考に、活動の状況をチェック		
	給食は子どもの健康や発育・発達にも影響があり、食物アレルギーを持つ児童にあわせた除去食や代替食の提供は子どもの育ちを支え、保護者の育児負担の軽減となることから、活動指標として掲げました。 (最終目標と最終年度) 100% (平成26年度)						大変順調		
						順調			
					やや遅れ				
					遅れ				
					順調				

【Check】評価(分析)

分析及び課題の整理	【活動の状況】を踏まえた分析	活動は予定通りだったのか、活動は有効だったのかなど、分析し課題を整理する。また、影響を及ぼした外的要因の分析も行う。	食物アレルギーの対応について、研修会の内容に組み込む等啓発を行い、実施保育所(園)数、100%を継続維持していることから順調としました。 アレルギー対応給食により、その子どもの健康や発育・発達を支え、保護者の子育て不安を解消するので、保護者から喜ばれています。
	【経済性】 【効率性】の分析	「同じ成果をより低いコストで」「同じコストでより高い成果を」得られないか。また、民間活力導入による「経済性・効率性」の向上はできないか。	調理室で給食を作りながら、代替食を作るので、経済的・効率的な運営を行っています。

【Action】 目的実現のために平成27年度以降に実施すること

各保育所において、アレルギー原因食品の除去や、代替食の対応を適切に行うように推進します。また、不適切な対応や、配膳ミスが起きないように、調理員研修等で注意喚起を行います。

「元気発進！子どもプラン」事業評価票（平成26年度実績評価）

事業名	保育所措置費用負担金の軽減						掲載ページ		
							49		
コスト	事業費	平成26年度執行額		平成27年度予算額		政策分野	仕事と子育ての両立	担当局	子ども家庭局
		900,593	千円	1,039,912	千円	施策名	保育サービス	担当課	保育課 幼稚園・こども園課

【Plan】計画 → 【Do】実施 → 【Check】評価

目的	何を(誰を)どのような状態にしたのか	保育所措置費用負担金(保育料)は、国の示す徴収金基準額に基づいて定めることを基本としています。本市では、保護者の負担を軽減するため、市独自の軽減措置に努めます。				活動実績	活動結果は下記のとおりです。		
活動計画	保育所入所児童世帯の保育料負担軽減を維持します。								
活動指標	指標(数値化できない場合は、活動内容を文章で記載) (上段:指標名 下段:指標の考え方)		前年度実績	目標	実績(達成率)	→	【活動の状況】		
	保育料軽減率		18.1 %	19.7 %	18.6 %	大変順調	活動指標の実績を参考に、活動の状況をチェック		
	保育料は、国がその世帯の所得税や市民税課税額の階層区分に応じて基準額を定めています。本市においては、市民の負担をできるだけ軽くするため、国の8階層の区分を16階層に細分化して、国の基準額から全体で約20%の軽減を図っています。保育料の負担軽減状況を測るには、保育料軽減率が適当と考え、活動指標としました。 (最終目標と最終年度)				94.4 %				
						順調	順調		
					やや遅れ				
					遅れ				

【Check】評価(分析)

分析及び課題の整理	【活動の状況】を踏まえた分析	活動は予定通りだったのか、活動は有効だったのかなど、分析し課題を整理する。また、影響を及ぼした外的要因の分析も行う。	おおむね計画どおり保育料の負担軽減の維持に努め、保護者の負担を軽減したことから、順調としました。
	「経済性」「効率性」の分析	「同じ成果をより低いコストで」「同じコストでより高い成果を」得られないか。また、民間活力導入による「経済性・効率性」の向上はできないか。	市独自の保育料軽減措置により、保護者の負担を軽減しています。本市の保育料負担軽減率は、政令市の中でも低い軽減率(20政令市中19位)であり、経済性を考慮して、今後も維持していくこととしています。

【Action】 目的実現のために平成27年度以降に実施すること

<p>厳しい財政状況の中、保護者の負担を軽減するため、今後も、保育料負担軽減措置の維持に努めます。</p>
